

2024年1月22日

報道関係各位

SBI 損害保険株式会社

**【ダイレクト型損保初】SBI 損保、自動車保険の損害調査業務における  
「高精度3次元点群データ」の活用を開始**

SBI 損害保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：五十嵐正明、以下「SBI 損保」）は、ダイナミックマッププラットフォーム株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO：吉村修一、以下「DMP」）が提供する「高精度3次元点群データ<sup>(※1)</sup>」の損害調査業務への試験導入および検証を開始いたします。「高精度3次元点群データ」を活用した取り組みはダイレクト型損保で初となります<sup>(※2)</sup>。



「高精度3次元点群データ」の操作画面

保険金支払業務ではお客さまへの迅速な対応が求められていますが、一部の自動車事故では、事故現場の車線数や位置情報など、実際に現場を訪れて確認する必要があります。加えて、高速道路や自動車専用道路においては、事故現場の確認の困難さや、損害調査業務における安全性が課題となっていました。

そこでSBI 損保では、2023年11月から、DMPが有する首都高速道路の「高精度3次元点群データ」を損害調査業務へ試験導入いたしました。「高精度3次元点群データ」は、先進デジタル技術を用いて計測された膨大な計測データからデジタル空間に道路状況を再現するものであり、本データの導入により、これまで事故現場の確認が困難であった高速道路においても、迅速かつ安全に、正確な事故現場・状況を把握することが期待できます。

本取り組みによる情報精度の向上、および、保険金支払の迅速化を通じて、さらなるお客さまの満足度向上を目指します。

SBI 損保は「テクノロジーの力で新たな価値を創造する」ことを経営方針として掲げており、グループ内外の企業とのアライアンス・ノウハウを活用して、積極的に取り組んでまいりました。SBI 損保は今後も、さまざまな課題をDXによって解決し、新たな顧客体験を提供してまいります。

- ※1 「高精度3次元点群データ」とは、最先端かつ高度な「計測技術」を搭載したモバイルマッピングシステム(GPSやカメラ、レーザースカナを搭載した車両)によって計測した全国の高速道路と自動車専用道路のデータを計測し、一つに集約したデータです。
- ※2 2024年1月9日現在 SBI 損保調べ

以上

#### ◆SBI 損保について

SBI 損保は総合的な保険事業を展開する SBI インシュアランスグループの一員で、「新しい時代に、新しい保険を」という企業理念のもと、最先端の保険商品と最高水準のお客さまサービスを提供しています。テクノロジーの力で新たな価値を創造し、SBI グループ各社のシナジーでさらなる飛躍に向けチャレンジし続けます。

#### 【 会社概要 】

商号	SBI損害保険株式会社
所在地	東京都港区六本木1-6-1
設立	2006年6月1日
資本金	110億円
事業内容	損害保険業
URL	<a href="https://www.sbsonpo.co.jp/">https://www.sbsonpo.co.jp/</a>

#### ◆SBI インシュアランスグループについて

SBI インシュアランスグループは、日本のインターネット金融のパイオニアである SBI グループの保険事業を担う企業グループです。保険持株会社である SBI インシュアランスグループ株式会社(東証グロース市場上場)のもと、SBI 損保を含む事業会社 8 社が一体となって総合的な保険事業を展開しています。

「顧客中心主義」の徹底という基本方針のもと、保険分野におけるさまざまな付加価値を創造し、さらなる顧客基盤の拡大を続けることで企業価値の向上に努めます。

<本プレスリリースに関するお問い合わせ先>

SBI 損害保険株式会社 広報・サステナビリティ推進室

TEL : 03-6850-7856

e-mail : sbisonpo\_pr@sbisonpo.co.jp